

滝上の人

自然豊かなまち滝上で

今回は、この「広報たきのうえ」の作成にも携わっている合資会社ウエムラの植村宏光（うえむら ひろみつ）さん。植村さんは、太平洋戦争が始まった年の昭和16年生まれ、



あけぼの町 植村 宏光 さん

現在80才です。生まれは紋別市とのこと。親元を離れ植村さんが20代の頃は東京の企業で運転手をしていただけのこと、当時20歳そこそこで車の免許を持っていたことは珍しいことだったと話してくれました。植村さんが30代後半の頃、滝上町に帰郷。滝上町に戻ってきて2年間くらい長距離トラックの運転手をしていました。北海道から沖縄まで一人で運転して、各地をまわり、また北海道に戻ってくることもあったと昔の思い出を話していました。その後、ウエムラ印刷を開始して現在に至ります。

植村さんといえば、「流水焼き」でも有名です。始めたきっかけを聞くと北海道に焼き物を広めた方の話を思い出しました。私が、その方から焼き物を教えていただいたんですねと尋ねると「いや、焼き物は、まったくの我流でやってきた」と植村さんらしい一言。始めは趣味でやっていたものが、いつの間にか各地に出品することに。

（私が、後から調べるとなんとハワイのレストランで流水

焼きの器が使われているとのことでした。）また、植村さんから、流水焼きと名付けたのは私が紋別市で生まれたからと教えていただきました。

今後の抱負を植村さんに尋ねたところ、滝上は自然豊かな町。この町で、子どもたちが自然と遊び、家族が自然の中を散歩したり、野菜を作ったり、また、となり近所の人がお互い助け合うなど仲良く生活する一昔前の日本のような光景を見ることができないかなと話してくれました。

また、最近ではあけぼの町に公営住宅が多くなってきたので近所に子どもを見る機会が多くなったのではとの問いに植村さんは、ここ最近のコロナの関係なのか、外で子どもを見るのが少なくなってきた



たとの答えが返ってきました。滝上は自然豊かな町です。その自然豊かな町で、いままです以上に家族や子どもたちがにぎわう風景が見ることができると、植村さんには元気に過ごしていただきたいと思います。